

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 12月号

令和5年11月30日(木)

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

『誰でも主役になれる学校』を 目指した交流活動に感動！！

山々の美しい雪化粧に冬の訪れを感じるころとなりました。保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今月7日(火)に、6年2組と仲よし級が、総合的な学習の時間の中で、『誰でも主役になれる学校』を目指して計画・立案してきた交流活動を行いましたので、その様子をご紹介します。

「仲よしランド」と題した今回の交流活動は、6年2組の子どもたちが、仲よし級のどの子どもを楽しめることを大切にして、魚釣り・福笑い・射的・すごろく・ジグソーパズルなど、様々な手作りアトラクションを考案しました。どのアトラクションも大盛況で、終始子どもたちの笑顔が絶えることはありませんでした。仲よし級の子どもたちにとっても、6年2組の子どもたちにとっても、とても素敵な時間となりました。私も、最後まで参観しておりましたが、どの教室も優しく温かな空気に包まれており、心から幸せな気持ちになりました。

今後も、すべての子どもたちが安心して共に学び、共に成長していけるよう、インクルーシブ教育^{*}の推進に努めてまいりますので、保護者や地域の皆様方のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

^{*}インクルーシブ教育とは、障害の有無に関わらず、すべての子どもが共に学び合う教育のことです。



◆◆◆◆子どもたちの感想◆◆◆◆

- ・仲よし級と一緒にいると、すごく楽しいし盛り上がります。
- ・一緒に過ごせれば、仲よし級も自分たちのクラスも関係ないです。
- ・頑張って準備してきたから達成感がすごくありました。
- ・最高にいい思い出になりました。また来年もやりたいです。
- ・サインやスタンプももらえて、すごくうれしかったです。